

品 番 YF22871K (一般屋外用)
YF22562Z (一般屋外・海岸地帯用)

※器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

安全に関するご注意

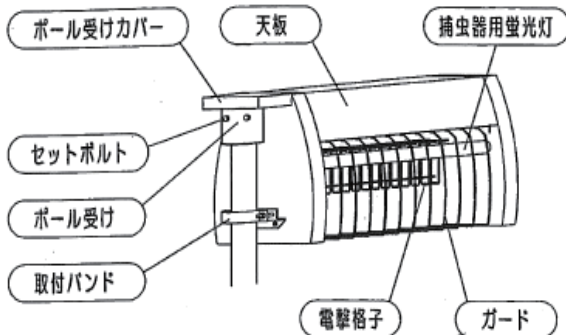
⚠ 警告

- 施工は施工説明にしたがい確実にを行う。施工に不備があると、落下・感電・火災・ポール転倒の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災・故障の原因となります。
- 接地工事（D種接地工事）を確実にを行う。接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 電源の開閉が容易にできる場所に必ず専用の開閉器（ブレーカ・両切、カバー付ナイフスイッチ等）を設置する。【電気設備技術基準】
- 取付高さは床面より3.5m以上とし、天井材・壁材・他の工作物・植物等とは30cm以上離して取り付けてください。
感電・火災の原因となります。【電気設備技術基準】
- 無線設備の機能に障害を与える恐れのある場所には使用しない。
無線機能の誤動作の原因となります。【電気設備技術基準】
- 揮発性引火物、爆発物などが近くにある場所（ガソリンスタンドなど）には設置しない。
火災・爆発の原因となります。【電気設備技術基準】
- ホコリやゴミが器具に溜まりやすい場所には使用しない。
虫が燃えた場合、引火して火災の原因となります。【電気設備技術基準】
- 電撃格子が変形した時は、電源を切り、使用しない。自己放電・感電・火災の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁・防水処理（融着テーピング等）は確実にを行う。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続（ねじり接続等）はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。

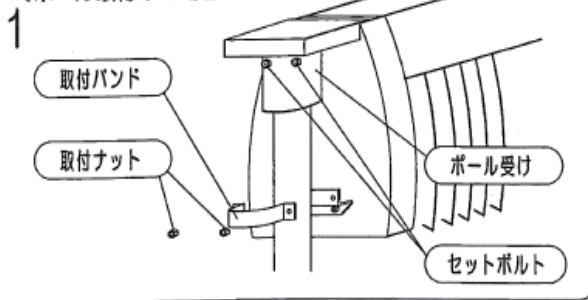
⚠ 注意

- この器具は一般屋外用（防雨型）器具です。湿気の多い場所、振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスや粉じんの発生する場所、海岸隣接地には使用しないでください（YF22562Zは除く）
指定外の場所で使用すると、落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、35℃以下で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、火災の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。怪我のおそれがあります。

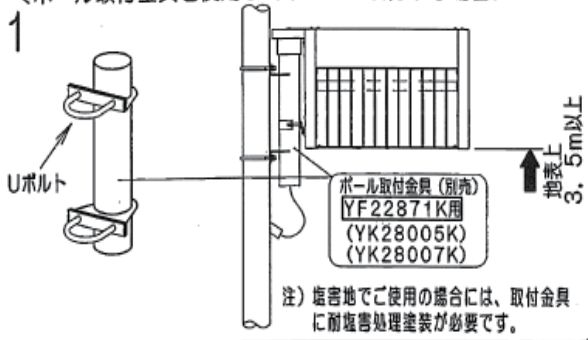
各部のなまえと取付方法



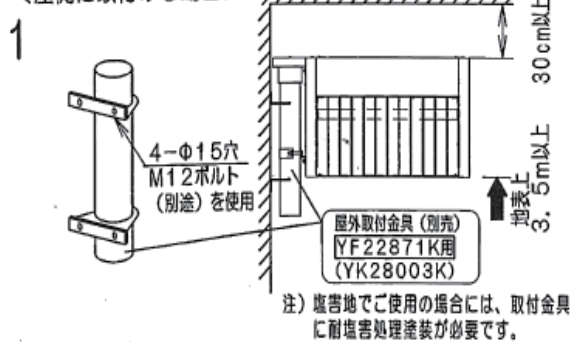
＜ポール取付けの場合＞



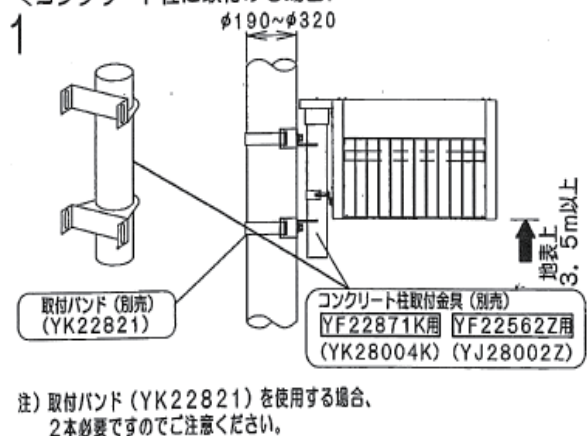
＜ポール取付金具を使用してポールに取付ける場合＞



＜屋側に取付ける場合＞



＜コンクリート柱に取付ける場合＞



警告

施工は、取扱説明書に従い確実に行う。
施工に不備があると、発火・感電の原因となります。

・器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

放電音が発生する場合があります

電源投入時に、電撃格子より放電音（パチッと音がします）が発生する場合がありますが、故障ではありません。

設置、使用禁止場所

- ・揮発性引火物、爆発物などが近くにある場所（ガソリンスタンド等）
- ・ホコリやゴミが器具に溜まりやすい場所

火災の原因となります。

- ・取付高さ3.5m以上とし、天井材・壁材・他の工作物・植物等とは30cm以上離して取り付けてください。

感電、火災の原因となります。

1 ポール及びポール取付金具への取付方法

- ・器具質量（18.6kg）に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。不備があると落下の原因となります。

＜ポール取付の場合＞

- ・ポール受けにφ76ボールの先端を挿入し、セットボルト（2点）及び取付バンドで確実に固定する。不備があると落下の原因となります。

＜ポール取付金具を使用してポールに取り付ける場合＞

（ポール取付金具YK28005K（φ89.1、φ101.6用）、YK28007K（φ114.3用）を別途用意）

- ・ポール取付金具のUボルトにポールを挿入し、取付ナットを締め付け確実に固定する。
 - ・ポール受けに取付金具を挿入し、セットボルト（2点）及び取付バンドで確実に固定する。
- 不備があると落下の原因となります。

＜屋側に取り付ける場合＞

（屋側取付金具YK28003Kを別途用意）

- ・取付面に取付金具をM12ボルト4本（別途）で確実に取り付ける。
 - ・天板の開閉を可能にするため、器具の上方に少なくとも30cm以上の空間を確保する。
 - ・ポール受けに取付金具を挿入し、セットボルト（2点）及び取付バンドで確実に固定する。
- 不備があると落下の原因となります。

＜コンクリート柱に取り付ける場合＞

（コンクリート柱取付金具YK28004K、YJ28002Z、取付バンドYK22821を別途用意）

- ・取付バンドをコンクリート柱取付金具の角穴に通してコンクリート柱に巻き付け、確実に固定する。
 - ・ポール受けに取付金具を挿入し、セットボルト（2点）及び取付バンドで確実に固定する。
- 不備があると落下の原因となります。

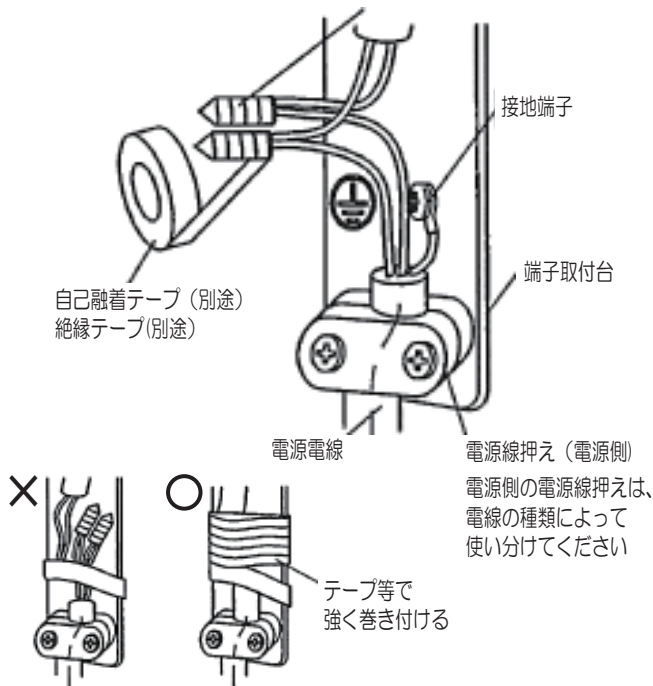
各部のなまえと取付方法（続き）

電源線押え（電源側）の使い方

- ◎丸型ケーブルの場合 外径（φ 9.6 mm ～ φ 13 mm）
- ◎平型ケーブルの場合 外径（6.2 mm × 9.4 mm ～ 7mm × 15 mm）

※（出荷時は丸型ケーブル止めの状態になっています。）

圧着スリーブ等で結線後、絶縁テープによりテーピング処理をする



2 電源線・器具口出し線・アース線を接続する

- ・接続部の絶縁、防水処理（融着テーピング等）を確実に行う。
- ・線のかみ込み防止のため、余った線を端子取付台にテープ等で固定してください。
- ・極性には十分に注意する。200V用の器具の口出し線の接地側リード線には「N」の表示があります。

間違えると器具故障による不点の原因となります。

＜ポール取付後に結線する場合＞

- ・ポール受けカバー取付ネジ（2カ所）を外し、ポール受けカバーを取り外す。
- ・端子取付台のネジを緩め、取付台を上に取り出す。
- ・D種（第3種）接地工事が必要。
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- ・口出し線の線種：ビニール絶縁電線
電源線の線径：0.75mm²
- ・電源線及びアース線はケーブルのシース部を電源線押さえでしっかりと固定してください。
- ・ケーブルの押え量はケーブル外径の1/4程度とする。
- ・端子取付台を元の位置に戻し、ネジで締め付ける。
- ・ポール受けカバーを取付ネジでしっかりと固定する。

＜ポール取付前に結線する場合＞

- ・D種（第3種）接地工事が必要。
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- ・口出し線の線種：ビニール絶縁電線
電源線の線径：0.75mm²
- ・電源線及びアース線はケーブルのシース部を電源線押さえでしっかりと固定してください。
- ・ケーブルの押え量はケーブル外径の1/4程度とする。



警告

接続・保護が不完全な場合
感電・火災の原因となります。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがあるなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 虫受皿や電撃格子にむしやホコリやゴミなどがたまった場合は速やかに取り除いてください。火災の原因となります。
- 電源を入れた状態で絶対に電撃格子に触れないでください。感電します。
- 電撃格子が変形した時は、電源を切り、使用しないでください。自己放電、感電、火災の原因となります。



注意

- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスは異なります。ご使用期間が10年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して10年（※1）経つと、外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
- ※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合など寿命が短くなります。
- ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下、感電、火災などに至る場合があります。
- ランプ交換やお手入れの際は必ず電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。感電、やけどの原因となります。
- ランプ交換の際には、「ランプ交換方法について」にしたがって、確실히行ってください。不備があると、落下、感電、火災の原因となります。
- 保守、点検、清掃される場合は、必ず電源を切ってから行ってください。感電の原因となります。
- 器具に向けて殺虫剤などの引火物の噴射は行わないでください。感電、火災の原因となります。
- 布や紙等の燃え易いもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。

保証について

- 保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。安定器は3年間です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ



注意 必ず電源を切ってから行ってください。
落下・感電の原因となります。

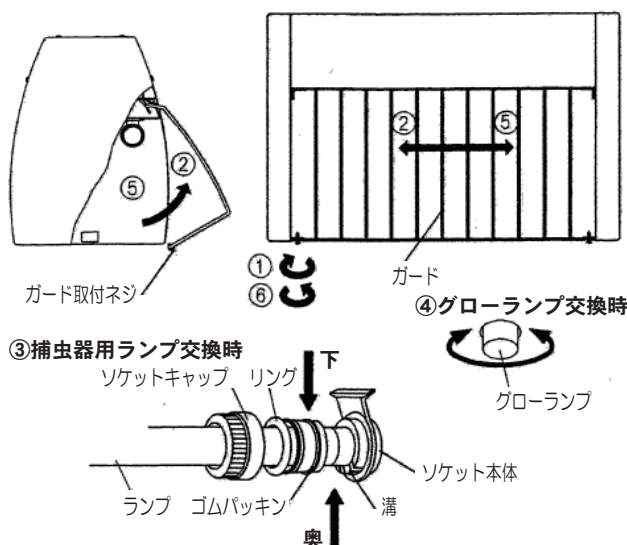
- 電撃格子・・・・・・電撃格子に虫が付着すると殺虫能力が低下します。乾いた布でふきとり清掃してください。
- ランプ・・・・・・ランプを器具から外して、乾いた布でふきとり清掃してください。
- その他の器具部品・・水または中性洗剤をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で空ぶきしてください。
シンナー、ベンジン、強アルカリ系洗剤などでふかないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。



ランプ交換方法について



注意 必ず電源を切ってから行ってください。
落下・感電の原因となります。



- ①ガード取付ネジ（2カ所）を緩め、ガードを引き上げる。
- ②ガードを開き上げながら左にずらす。
（ガードが固定された状態になり、仮止めができます。）
- ③蛍光ランプを交換する。（必要に応じ）
・ソケットキャップを緩め、リング、ゴムパッキンと共にランプを両手で持ち、下に静かに引き出して外す。
・ソケットキャップ、リング、ゴムパッキンを外してランプを交換する。
・ランプの両端にソケットキャップ、リング、ゴムパッキンの順序で通す。
・ランプのピンをソケットの溝に沿って奥まで差し込む。
（“カチッ”と音がします）
- ④グローランプを交換する。（必要に応じ）
・グローランプの先端をつまみ、回転させて着脱させる。
- ⑤ガードを右にずらし、閉じる。
- ⑥ガード取付ネジ（2カ所）を締める。

下表に指定した交換部品をご使用ください。

蛍光ランプ	グローランプ
パナソニック製捕虫器用蛍光灯 FL20S・BL・K	パナソニック製点灯管 FG-1EL

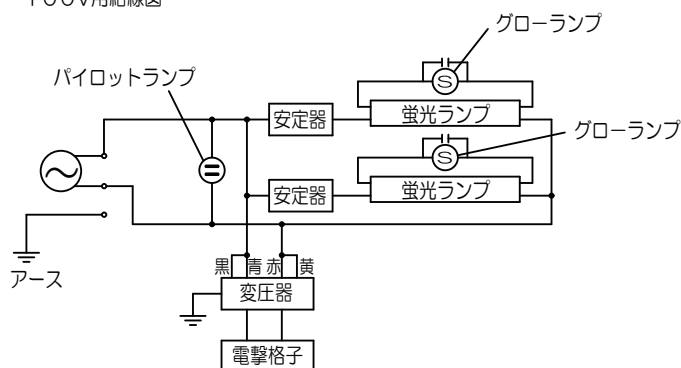
定格

定格電圧	定格周波数	入力電流	入力電力	二次電圧		二次短絡電流	器具質量
				実効値	最大値		
100V	50Hz	2.0A	61W	6400V	10900V	19mA	18.6kg
	60Hz	1.8A	56W	7000V	11500V	16mA	
200V	50Hz	1.0A	70W	6400V	10900V	19mA	
	60Hz	0.9A	67W	7000V	11500V	16mA	

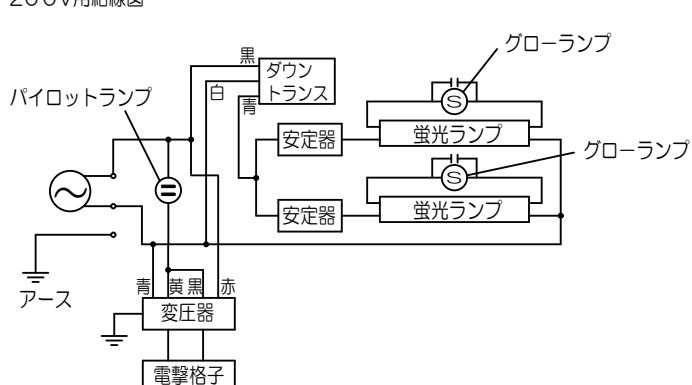
結線図

（サービス会社用ですので、サービス担当者以外は絶対に内部を開けないでください。）

100V用結線図



200V用結線図



パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター

0120-878-709（フリーダイヤル） 0120-872-460（FAX）

M0412-060820